

1.農業工学と地域環境工学

1.1.農業工学

農林省(当時)管轄下の土木のこと。(建設省管轄のものが工学部系の土木)

1.2.地域環境工学、地域環境科学

自然生態系と人工的要素の組み合わせ。(川(自然)に利水、治水(人工的要素)ただし現在は環境的視点が必要。)

2.水土緑系

2.1.構成

施設機能工学

水資源利用工学

水環境工学

農村計画学

3.川島教授の来歴

3.1.組織

3.1.1.農業技術研究所(農技研)

物理統計部:気象、推理統計

化学部:肥料等

生理遺伝部:DNA

病理昆虫部

経営土地利用部

3.1.2.農業環境技術研究所

水文、気象

3.1.3.農業生物資源研究所

バイオテクノロジー

3.1.4.農研センター

環境

3.2.やってきたこと

3.2.1.農環研で蒸発散や農業気象(作物と気象)の研究。

具体的には生態気象反応。(例として冷害によるイネの収量の変化。)

研究所のついでで大気拡散に出合い、スギ花粉拡散シミュレーションをイタリアで

3.2.2. 大気生物学の研究

大気生物学ではチベットでの観測や遺伝子組み換え作物の花粉拡散環境影響(拡散プロセス)、大気中のガス循環などについて研究している。

4.最後に

生物多様性は今後のカギ。

北部食堂は昔のほうがおいしかった？(今はさじ加減がない？オーダーコーナーは辛うじて残している？)

スーパー(大型店)などもみられる。

多様性が失われつつあるということで研究している研究者もいる。